



## 企業概要

自動車小売業

## 問い合わせ先

担当部署 / 企画宣伝部

岡山市南区泉田一丁目3番6号  
TEL 086-231-1112  
<https://www.netzokayama.com/>

- ①エコキャンプ、トヨタ自動車工場見学
- ②交通安全講習会、グッドドライバー宣言
- ③目指せ！未来のエンジニア



### 解決したい地域課題・社会課題の内容、活動を始めたきっかけ

地域の自然環境において、生態系の破壊や水質汚染などから環境を保護するための取り組みが急がれていることに関心を持っていただくとともに、子どもたちの自動車についての興味・関心アップや交通マナー意識の向上を図りたいと考えています。

### 取組内容

- ①山陽新聞社の「エコキャンプ」に特別協賛し、自然観察会や発電体験、エコカーの試乗会など、自然環境の大切さを楽しみながら体験いただいています。また、トヨタ自動車工場見学では、トヨタ自動車の工場やトヨタ博物館などの見学に加え、トヨタの森での里山体験を通じて自然とのふれあいも体感していただいています。
- ②交通安全講習会は、岡山県警などの団体・企業のご協力で実施しており、事故に遭わない・起こさないための予防運転の啓発や先進安全自動車の体験などを行っています。「グッドドライバー宣言」では、安全運転についてのアンケートを実施したり、ドライブマナーを啓発するラジオCMをオンエアしています。
- ③子どもたちがメカニックウェアを着て車のメンテナンスを体験するイベント。自動車の仕組みを楽しく学びながらメンテナンスに挑戦する整備士体験プログラムです。

### 取組目標・目的

- ①新しい時代の担い手である子どもたちに、自然保護の大切さや持続可能な社会の実現について興味を持っていただくきっかけづくりをしています。また、自動車の製造過程や歴史などに触れることで自動車産業への関心アップを目指しています。
- ②最新の安全技術を体感していただくことで、サポカーのさらなる普及につなげ、安全な車社会づくりを目指しています。「グッドドライバー宣言」を旗印に、岡山の車社会の一翼を担うカーディーラーとして、安全で安心な車社会の実現に貢献します。
- ③子どもたちに自動車をもっと身近に感じていただき、メンテナンスの大切さや安全なドライブについて考えてもらうきっかけづくりになればという思いから、エンジニア体験を実施しています。

### 担当者からのコメント

持続可能な社会の実現に向けて、これからの時代を担う子どもたちに焦点をあてて、自然環境学習や整備士学習プログラムを実施し、子どもたちが楽しみながら学んでいただける取り組みを行っています。また、先進安全装備や交通マナーについての啓発活動を行い、安心・安全な地域づくりに貢献していきたいと考えています。



企画宣伝部 部長 守屋 美徳



## 企業概要

税理士法人パートナーズは中四国(岡山・広島・鳥取・香川・愛媛・徳島・高知)に8事務所を設置し運営しております。相続専門の部署を設置しており年間2000件以上の相続・贈与の相談に対応しております。

## 問い合わせ先

岡山市北区下中野1222番地9  
TEL 086-246-4446  
FAX 086-246-4406  
E-mail iw-k-zei@rmail.plala.or.jp  
<https://zei-partners.com/>

## 相続・事業承継のパートナーとして、お客様の「業務面」と「心情面」において本当の意味での「パートナー」になれるよう邁進



### 解決したい地域課題・社会課題の内容、活動を始めたきっかけ

岡山県のみならず中四国では高齢化が進み、代替わりのタイミングが今後増えていくと思います。しかし、相続・事業承継について何をすれば良いのかわからず行動ができない方が多くいらっしゃいます。代替わりという大きな機会を円滑にできるよう、ご支援ができればと考えております。

### 取組内容

他士業との連携、取引先からの紹介、個別相談、セミナー、各種サイト、書籍など窓口を多く作り、お気軽にお問合せができるように事務所の体制を整えております。

### 取組目標・目的

相続・事業承継は事前対策や実施内容など専門知識が必要な分野となります。その為、相続専門の税理士事務所として、お客様が安心して相続に取り組むことができるよう、丁寧な説明、円滑な実務ができるよう取り組みます。

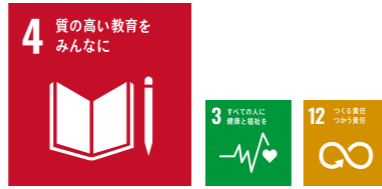
### 担当者からのコメント

ご家族や企業の世代交代は何度もあることではありません。その為、その時の状況やご事情、また将来のビジョンも考えて行います。お客様のこの先の人生にも影響を及ぼすこともあるので、とても重要な業務であると同時に、やりがいもとてもある業務でもあります。



代表社員 川本 洋





## 企業概要

1950年10月個人営業より有限会社に改組、本格的に楽器の販売や修理を開始。  
「楽器販売を通じて地域音楽文化発展に寄与する」という会社理念の元、一般顧客をはじめ官公庁やホテル・ライブハウス、特に学校とのお取引のウェイトが高い。

## 問い合わせ先

岡山市北区表町三丁目3番20号  
TEL 086-225-2858  
FAX 086-225-2854  
E-mail makoto\_hasegawa@hasegawa-gakki.com  
http://www.hasegawa-gakki.com

## 楽器のリサイクル 幼児から高齢者対象の音楽教室を運営し 生涯学習の場を提供



### 解決したい地域課題・社会課題の内容、活動を始めたきっかけ

古物商許可を取得し、不要となったピアノの引き取りや買い取りを創業当時から開始。時代と共に管・弦・打楽器とその対象が広がっていきましました。楽器をゴミとして廃棄するのではなく、修理・調整をして必要としている方にお届けします。

### 取組内容

ピアノは、ご自宅等現地へお伺いして査定(無料)、他の楽器は、店頭にて査定しその場で買取りやお預かりして委託販売をしています。音楽教室は、ピアノ・フルート・サクソ・金管楽器・バイオリン・ハープ・ドラム・ギター・Eギター・ベース・ウクレレ・ボーカル・健康と音楽・うた広場など各種コースを設置しています。

### 取組目標・目的

楽器を演奏したり歌を唄う事は、手足を動かし腹式呼吸をする事で脳を活性化させ健康にもとても良いとされており、そうした生徒さんを増やしていく事によって文化度の向上に寄与していきたいです。使用されなくなった楽器を修理・調整し、再利用することで廃棄物の削減に貢献したいです。



代表取締役 長谷川 誠

### 担当者からのコメント

生徒さんの発表会やライブへの出演で、ご自分の演奏技術向上を発表する場を提供しています。また学校現場や吹奏楽部などに対してその音楽活動をソフト・ハード両面で支援しています。



## 企業概要

1883年(明治16年)創業。水飴製造業として岡山の地でスタートし、微生物や酵素など自然の力を利用したモノづくりを続け、現在はバイオテクノロジーや機能性色素の技術をベースに、食品やパーソナルケア、医薬など幅広い分野で事業を展開しています。  
林原の4つのマテリアリティ「健康寿命延伸への貢献」「安定的な食料確保」「社員エンゲージメントの向上」「環境負荷の低減」を軸にサステナビリティへの取り組みを率先することで持続可能な社会の実現に貢献したいと思っています。

## 問い合わせ先

担当部署 / 経営デザイン室

岡山市北区下石井一丁目1番3号  
TEL 086-224-4324  
FAX 086-224-8492  
E-mail HB96721@hb.nagase.co.jp  
https://www.hayashibara.co.jp/

## 食品や健康にまつわる情報の発信



### 解決したい地域課題・社会課題の内容、活動を始めたきっかけ

人生100年時代に向けて、いかに健康寿命を伸ばしていくかが喫緊の課題と考えています。健康な体作りには毎日の「食」が大きな影響を与えるため、食品素材を提供するメーカーとして皆さまの日々の健康に役立つ情報を、また食品に関する正しい情報をお伝えしたいと考え、定期的なイベントや弊社WEBサイトを通して情報発信を行っています。

### 取組内容

今注目されているまたは最新の食品や健康に関する話題を皆さまにわかりやすくお伝えしていくために、一般の方向けの講演会『林原ライフセミナー』の開催や、弊社WEBサイトのコンテンツ『林原 知識ライブラリー』にて定期的な情報発信を行っています。  
また、ここ直近の2年は10月8日の「トレハロースの日」に岡山市や岡山県菓子工業組合青年部と一緒に「フレイル」をテーマにしたイベントを開催し、フレイルの認知度向上と正しい理解の浸透活動を行っております。  
●知識ライブラリー  
<https://www.food.hayashibara.co.jp/library/>  
●林原ライフセミナー  
[https://www.hayashibara.co.jp/data/3401/sustainability\\_tp/](https://www.hayashibara.co.jp/data/3401/sustainability_tp/)

### 取組目標・目的

健康は1日にして成らずで継続した取組が必要ですが、前提として正しい知識をもとに取り組みむことが大切です。  
デジタルの発達によりインターネットやSNS等を通じて多くの情報にアクセスできる便利な世の中になりましたが、中には誤解を与える情報もあります。情報過多の時代に正しい食や健康に関する情報を第一線で活躍する研究者の知見も交えながらわかりやすくお届けする事で、皆様の健康的でいきいきした生活に貢献したいと考えています。



経営デザイン室 細川 奈々絵

### 担当者からのコメント

弊社の主要事業である食品関係はBtoBのビジネススタイルがメインであるため、一般消費者の方と直接触れ合う機会は少ないのですが、WEBサイトやイベントを通じて一般の方へ直接情報を発信することで、生の声を聞けることは大変貴重な機会と考えています。情報発信を通して、少しでも皆様の健康づくりに役立てればと思います。また、林原を身近に感じて頂き、弊社製品が配合された加工食品や健康食品、化粧品や医薬品をより安心してご利用頂けるようにこれからも有用な情報発信を心がけていきますのでよろしくお願いいたします。





企業概要

岡山、香川を拠点に、瀬戸内エリアでマーケティング・コミュニケーション領域で事業を展開。地域No.1のクリエイティブ・カンパニーを目指し、新しい付加価値やビジネスモデルの創造に取り組んでいます。

問い合わせ先

担当部署 / 経営統括局

岡山市北区内山下一丁目3番1号  
TEL 086-224-7172  
FAX 086-224-1584  
E-mail saiyo@vis-a-vis.co.jp  
https://www.vis-a-vis.co.jp

地域において共にSDGsに取り組んでいける環境整備と、  
コミュニケーション事業での啓発推進や  
地域・企業における各種SDGs事業開発の支援



解決したい地域課題・社会課題の内容、  
活動を始めたきっかけ

ESD国際会議をはじめSDGsに関するイベント事業運営のお手伝いとともに、経済団体のSDGsに関する冊子制作のお手伝い等を通して、SDGsへの取り組みの必要性・重要性を認識しました。SDGsプロジェクトチームを編成し、SDGs取り組み方針をさらに一歩進め、「SDGs宣言」並びに取り組み指標の作成を進めてきました。

取組内容

ESD国際会議運営をはじめSDGsに関する各種イベント事業運営の支援の他、地域活性化計画、まちづくり計画等に「人や自然を大切に作る視点」を盛り込んだ計画を立案しています。また各企業のインターナル・ブランディングの取り組みでの働きがいの創出やSDGs取り組みのサポート、企業・各自治体のSDGs啓発事業の支援も実施、さらに岡山県内でのSDGsへの取り組みを紹介する出版物を発行しました。

取組目標・目的

企業として持続的な活動をしていくために、SDGsの取り組みは必要不可欠なものであり、地域に根差した企業として、地域の持続的経済の発展、住み続けられる地域づくりは重要な取り組みです。会社として、さらには働く社員一人一人が、地域の企業・自治体・学校・団体・地域にお住まいの方々とともに、SDGsを推進したいと考えています。

担当者からのコメント

取組メリットとして、自社のSDGsの取り組みが、各企業や自治体・学校・団体などに連携展開できること、さらには自社の社員の働きがいの創出や働き方改革につながることで、採用面でのプラス効果などが挙げられます。今後の課題としては、コミュニケーション領域の事業が主体であるため、商品・サービス面でのSDGsの具体的な取り組みにつながりにくい面があると感じています。



経営統括局 主任 笠原 明子



企業概要

醤油、味噌、清酒、焼酎などの醸造食品製造設備のトップシェア企業。岡山から日本全国、世界20数か国のお客様に設備、プラントを展開。醸造食品で最も重要な「麹づくり」で培った固体培養技術を、飼料やバイオ素材などの新たな分野に活用すべく技術開発に注力します。2020年11月、国連グローバル・コンパクトに署名。

問い合わせ先

担当部署 / 経営企画室

岡山市北区富吉2827番地3  
TEL 086-294-1200  
FAX 086-294-1220  
E-mail kidera@fujiwara-jp.com  
https://fujiwara-jp.com/

醸造食品の麹造り技術を応用した  
機能性飼料の開発



解決したい地域課題・社会課題の内容、  
活動を始めたきっかけ

2050年には世界人口が100億人へと大幅に増加し、食肉の供給が需要に追いつかなくなると予測されています。食肉生産には大量の飼料が必要で、飼料もまた穀物であるため、結果的に世界的な食糧不足を招く可能性がある懸念されます。当社はこれらの食糧問題を解決する手段として酵素の宝庫とされる麹に着目しました。麹は醤油、味噌、清酒、焼酎などの醸造食品製造に不可欠なもので、穀物を分解し、醸造食品の香りや旨味を引き出す様々な酵素を多く含んでいます。家畜の飼料として、酵素を豊富に含む麹を活用することで、飼料の消化性や家畜の健康状態が良くなり、より効率的な食肉生産が可能になると考えました。また当社は、醸造での経験から麹を産業化レベルで量産できる技術を有しており、機能性飼料をグローバルに展開できると考え、開発に取り組んでいます。

取組内容

- ・特定の酵素を高生産するオリジナル麹菌の育種。
- ・実用化規模の固体培養装置で機能性飼料の大量培養試験。
- ・大学や高校と連携した給餌試験で効果検証。

取組目標・目的

家畜の免疫力向上、経済寿命向上などの効果が期待できる機能性飼料の量産システム開発。

担当者からのコメント

当社では上記の開発以外にも、心豊かな循環型社会実現のため、「環境問題解決、エネルギー問題解決、食糧問題解決、豊かな食文化の追及」に貢献するさまざまな技術開発を推進しています。岡山の地から一つでも多くの世界を支える技術が発信できるよう、共創をコンセプトにSDGsにも貢献していきます。



経営企画室 室長代行 木寺 耕太郎



# 有限会社 プリエジャパン



## 企業概要

1999年設立 岡山市北区本町にサロンオープンしました。最新マシンとエステティシヤンのハンド技術(手技)との融合で、お客様のお悩み解決をしております。特に全身の循環ケアを目的として、筋膜リリース、たるみ改善を強みにしています。

## 問い合わせ先

岡山市北区本町9番20号 1F  
TEL 086-223-7161  
FAX 086-223-7123  
E-mail prie@f6.dion.ne.jp  
<https://www.prie-japan.co.jp/>

つくる責任 つかう責任  
使用するタオルを植物由来のものに変えています  
石油を使用していないため、  
資源をむだにせず海を守ります



## 取組内容

お客様に直接触れるタオルを植物由来のタオル(ハンドタオル)に変えています。お肌にも優しく環境も守っています。1つ1つのことから意識して変えています。

## 解決したい地域課題・社会課題の内容、活動を始めたきっかけ

私たちは陸に住んでいますが、海に助けられて、また海の資源を消費して生きています。しかし私たち人間のこれまでの活動により海が汚染され続けています。結果、生きものが育たなくなっています。私たちにできることから環境を守っていきます。

## 取組目標・目的

大切な資源を守ります。(石油)  
川や海を汚染から守ります。



## 担当者からのコメント

お客様にお伝えすることで、より共感して頂けます。スタッフに周知してもらうことで、サロン全体の意識が強くなっています。

代表取締役 平賀 美由紀

# 株式会社 ホテルグランヴィア 岡山



## 企業概要

2022年3月で開業27年目を迎える岡山駅直結のシティーホテル。  
コーポレートスローガンは「すべての感動のために〜岡山でいちばん笑顔を集めます〜」

## 問い合わせ先

担当部署 / 企画部

岡山市北区駅元町1番5  
TEL 086-233-1709  
FAX 086-234-7091  
E-mail s-takahashi@granvia-oka.co.jp  
<https://www.granvia-oka.co.jp/>



お客様にも地球環境にもやさしい、  
おかやま地域一番店を目指して



## 解決したい地域課題・社会課題の内容、活動を始めたきっかけ

ホテル事業は日々多くの人々が集い憩う場を提供するため、大量のエネルギーや食材を消費する事業特性があります。そのため環境への負荷が大きく、その軽減は長年の課題でありました。そのような中、近年の国際的な地球環境保護への関心の高まりを受け、環境改善活動の推進はホテル事業の運営者として、また岡山における地域一番店としての重要な責務であるとの考えに至り、2011年度より環境委員会を立ち上げ、現在まで継続的に活動を行ってきました。

## 取組内容

当社では地球環境にやさしいホテルを目指し以下の3つの観点を活動の大きな柱に掲げ、取り組みを推進しています。

- ①地球温暖化防止  
(主な取り組み)館内照明の全館レベルでのLED化、客室への節水装置の導入、社内会議の完全ペーパーレス化
- ②循環型社会の構築  
(主な取り組み)分別排出の徹底によるリサイクル率の向上、食材の適量発注・適量調理の徹底による食品ロス削減、食品廃棄物を使用したバイオマス発電事業への参画
- ③地域共生・社会貢献  
(主な取り組み)地域清掃活動への参加、エコキャップ運動、提供食材の「おかやま有機無農薬農産物」の登録  
他にも、スタッフの働きやすい環境整備のためダイバーシティーや子育て支援制度の推進に努めています。

## 取組目標・目的

CO<sub>2</sub>の排出削減を推進するとともに食品ロスを限りなくゼロに近づけることにより、SDGsゴールの達成に寄与することを目標としています。そのため個々の取り組みごとにマイルストーンを設けつつ、継続的に取り組みます。



## 担当者からのコメント

SDGs、特に地球環境保護への国際的な関心は年々高まっているように感じます。当社も環境改善活動等を通じて持続的な社会の実現に向けて貢献することで、地域の皆様とより良い信頼関係を構築し、岡山地域一番のホテルとして認められるよう日々努力しています。

企画部 主任 高橋 章太





## 企業概要

1961年に設立し岡山市に本社を置き「街をつくる人」「街に暮らす人」「未来」を見つめ、より高品質で高性能な製品をご提供しています。

## 問い合わせ先

担当部署 / 総務

岡山市北区大内田761番地3  
TEL 086-292-5500  
FAX 086-292-5580  
E-mail maeda@muroganeji.co.jp  
(課長 前田 のぶ美)  
http://muroganeji.co.jp

## カーボンニュートラルへの推進と 産業現場への配慮



### 取組内容

使用するボルト・ナットのメッキを現行の物(六価クロム)から環境に優しい三価クロムを使用したメッキに移行しています。  
又、社用車を随時、電気自動車に切り替えます。  
太陽光パネルを設置することによりCO<sub>2</sub>排出の削減に取り組んでいます。

### 解決したい地域課題・社会課題の内容、 活動を始めたきっかけ

ボルト・ナットの表面処理を環境に優しいものにかえます。  
CO<sub>2</sub>を削減します。

### 取組目標・目的

社用車は、中型トラック以外はEVに切り替えます。  
太陽光パネルとEVの併用で災害時に対応。  
お客様に理解頂き、環境に優しいメッキ(表面処理)を拡げます。

### 担当者からのコメント

CO<sub>2</sub>排出によりオゾン層の破壊や温度の上昇が起こり、異常気象が多発し、又、海水の上昇に伴い生物のバランス異常が起きている事を知りました。小さな事でも自分達ができる事を行い次世代に継続可能な環境を残したいと考えています。



代表取締役 室賀 康史



## 企業概要

1960年に設立し、岡山市に本社を置き、中四国九州に10拠点、海外では中国に6拠点置き、「技術力と熱意で日本のものづくりを変えて行く」を企業理念に、「全員がやり甲斐、働きがいがある会社を目指す」を目標にして、幅広い業種のお客様の生産活動を合理化・最適化する制御機器など各種機器・部品を販売するとともに、生産現場のコストダウン、それに伴う課題解決のために機器の選定、設計、プログラム開発、システム提案を行っています。

## 問い合わせ先

担当部署 / 総務部

岡山市南区芳泉二丁目2番32号  
TEL 086-243-3844  
FAX 086-242-0173  
E-mail kyosuke\_kushige@lightdenryo.co.jp  
(取締役総務部長 榎下 京介)  
https://www.e-light.ne.jp/

## 選ぶ責任から社会に(お客様に)貢献する!



### 解決したい地域課題・社会課題の内容、 活動を始めたきっかけ

お客様の課題解決と一緒に取り組む商社としての責務として、ものづくりの生産現場では必ず電気や燃料を使い生産し、廃棄物が出てくる中で、企業としての責任を非常に感じており、システムや商品を選定し提案する中でお客様と一体となって、「エネルギーをクリーンに」「つくる責任使う責任」を解決していく活動に貢献できるのではないかとメーカー一体となって活動をしています。

### 取組内容

省エネ・品質向上・コスト削減・グローバル化・生産性向上・安全対策の各項目のあらゆる領域・レベルの課題を解決しています。  
省エネ分野では、お客様の生産活動を合理化・最適化する制御機器を選定する上で、再生可能エネルギー・蓄電池・新エネルギーによる創エネ・蓄エネ、高効率化モーターなど省エネ機器への置き換え・省エネ改善などを提案しています。  
商品やシステム設計に「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」「つくる責任使う責任」の活動に繋がる最良のご提案をさせて頂き、お客様と一体となって社会に貢献します。

### 取組目標・目的

お客様の現状、課題の把握から、環境に配慮した生産が行えるシステムを提案することで、生産と消費のパターンを持続可能なものにしていきます。今後も、弊社の提案活動を通じて、より省エネ・脱炭素化へ繋がるよう取組を推進していきます。

### 担当者からのコメント

当社では環境事業推進室を10年前に立ち上げ、環境に配慮し、社会に貢献するお客様の課題解決のお手伝いをお客様と一体となって活動をしています。メーカーとも情報を共有し、常に勉強会を社内でも開催して全員で目的意識を上げる活動からお客様へご提案をさせて頂き、持続可能な社会作りへの貢献に少しでもお手伝いが出来れば嬉しいと思っています。社内でもお客様でも意識が高く広まりを感じており、やり甲斐を感じます。



環境事業推進室 石原 太一



# 株式会社 Reculture 屋号(リボーンスマス岡山)



12 つくる責任  
つかう責任



## 企業概要

革製品の修理店、学習塾の経営

## 問い合わせ先

担当部署 / 営業部

店舗/岡山市北区野田二丁目2番35号 上杉第三ビル  
TEL 086-259-1490  
FAX 086-259-1490  
E-mail rebornsmith.okayama@gmail.com  
(代表取締役 赤木 智博)  
http://www.rebornsmith-okayama.com/sp/

## 革製品、革の再利用、リペア



### 解決したい地域課題・社会課題の内容、活動を始めたきっかけ

物余りによる廃棄が問題になっている中、【もったいない、捨てるの待って】をキーワードに良い物や思入れのある物を長く使えるようになる業種だと思い2012年に開業しましたが、結果SDGsの12番と15番に繋がる業態となりました。

### 取組内容

汚れたり壊れて捨てる予定だった革製品を、リペアやクリーニングにより綺麗にし、廃棄を減らす取り組みとなっております。また、リペアが出来る事を知った新規のお客様からは、バッグや財布など購入する時に長く使える前提で選ぶ事が出来るようになったとのお声を頂いております。

### 取組目標・目的

靴やバッグのリペアは、地方の岡山ではまだまだ認知されていません。今でも新規のお客様からは直ると知らなかったとの声が多く、これからは認知度を広げリペアによるエコを広めることを目指します。



店長 南部 洋一

### 担当者からのコメント

捨てなくて良かった、感動したと喜ばれる声がやりがいです。

# 両備ホールディングス株式会社



7 エネルギーをみんなに  
そしてクリーンに



## 企業概要

海外を含む約40社9000人で構成される岡山市に拠点を置く両備グループの中核企業。両備バスカンパニー、両備テクノモビリティカンパニーなど、10カンパニーを有します。

## 問い合わせ先

担当部署 / 両備経営サポートカンパニー 創夢本部

岡山市北区下石井二丁目10番12号  
杜の街グレース オフィスクエア 5F  
TEL 086-232-2118 / FAX 086-232-2212  
E-mail soumu01@ryobi-holdings.jp  
https://www.ryobi-holdings.jp/

## 旧車のレストア&EV化



### 解決したい地域課題・社会課題の内容、活動を始めたきっかけ

#### 脱炭素で環境対策

両備グループは、化石燃料を使った仕事をしている交通運輸業がコア事業のひとつということもあり、これまでも環境への取り組みはグループ全社を挙げての課題としていました。その取り組みを一步大きく前進させたものが旧車のレストア&EV化。環境課題への取り組みとしてEV車両が登場して久しいですが、我が国の乗用車保有において、EV車両の割合は1パーセントにも満たないのが現状です。そこで、長年培った車両のレストアやEV化の技術で、求められる地球環境対策や人々の豊かな暮らしに貢献し、脱炭素化の環境課題解決に挑みます。

### 取組内容

これまでは廃棄せざるを得なかった老朽化して動かなくなった車両を、両備テクノモビリティカンパニーのレストア(経年劣化した車両を新車同様の状態に復元する技術)とEVコンバージョン(既存のエンジン車をベースにEV車に改造すること)の技術で、再び移動目的を果たす動く車両によみがえらせます。この事業の拡大で、「CO<sub>2</sub>削減」「デザインの継承」「廃車しないことで廃棄物を削減」「ランニングコストの削減」「騒音の削減」「貯めて使う(V2H、防災対策)」に取り組みます。その先駆けとして、レストアしEV化した半世紀前の旧車を当社の役員車として導入しました。これら一連の普及活動に努めます。

### 取組目標・目的

「古くなった車は買い替える」から「電気へコンバージョンして古いものを大切に使い続ける」という自動車利用におけるパラダイムシフトが最終目標です。今後、電気自動車の一家に一台化は進行すると思われます。新車を買っているサイクルの裏では、中古車の市場を海外に求めざるを得ない実情もあり、これら一連の環境課題を自社の技術で解決を目指し、脱炭素化、破棄される車の削減など環境対策に貢献することを目的とします。



両備経営サポートカンパニー 創夢本部  
取締役常務執行役員 大坂 哲也

### 担当者からのコメント

机上の空論にならないよう、まずは役員車に旧車を導入することで、社会にも役員にも当取り組みの重要性や必要性を投げかけていきたいです。